

SAGA パラスポ 2025 (バレー ボール聴覚障がいの部)

実施要領

1 競技規則

令和7年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公財：日本パラスポーツ協会制定）及び（公財）日本バレー ボール協会競技規則（6人制）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

チームにおいて、監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含めて12名以内とする。

- (1) チームの編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、手話通訳者1名及び選手12名以内とする。
- (2) 男女別にチームを編成する。

3 競技方法

- (1) 試合は、申込みチームの数により、トーナメント方式またはリーグ戦方式とする。
また、トーナメント戦及びリーグ戦以外に交流戦を実施する。
- (2) 全試合3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。
- (3) 1セット25点のラリーポイント制とする（ただし、交流戦の3セット目は15点のラリーポイント制とする）。なお、得点が「24対24」（交流戦3セット目は「14対14」）の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームをそのセットの勝者とする。
- (4) 第3セットはいずれかのチームが13点（交流戦は8点）先取したときにコートの交代を行う。
- (5) 試合は、ワンボールシステムで行う。
- (6) 追込方式を採用し、直前の試合終了の10分後にプロトコールを開始する。ただし、連続試合となる場合は、試合終了後の20分以上空けてプロトコールを開始する。
- (7) アップコートで行う交流戦は、原則相互審判制で実施する。

4 服装等

- (1) 背番号は、1番から12番までとする。やむを得ない場合は、1番から99番までとする。なお、チーム名、キャプテンマークおよび背番号等のサイズは、規定のものとする。また、ユニフォームに県・指定都市名を表示すること。
- (2) リベロプレーヤーを採用する場合は、他の競技者と明確に区別できるユニフォームを着用すること。

5 ネットの高さと試合球

- (1) ネットの高さは、男子2.43m、女子2.24mとする。
- (2) 試合球は、公益財団法人日本バレー ボール協会検定球5号級（人工皮革・カラーボール）とし、主催者で用意する。

男子 モルテン製カラーボール

女子 ミカサ製カラーボール

6 組み合わせ

組合せは、主催者が各ブロック予選会の順位等を踏まえ決定する。

7 開会式・表彰式

- (1) 開会式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行い、1位から3位までのチームに賞状及びメダルを授与する。

8 その他

- (1) 代表者会議は、競技開始前に行い、その場において申し合わせ事項を設けることができる。なお、代表者会議の時間および場所については別途通知する。
- (2) ベンチには、選手、監督、コーチ、マネージャー及び手話通訳者以外は入ることができない。なお、手話通訳者は、参加申込時に別に登録した者とする。
- (3) 監督、コーチ、マネージャー、手話通訳者は統一された服装を着用すること。
- (4) 監督、コーチ、マネージャーは規定の各章を左胸部につけることとし、未着用の場合はベンチに入ることができない。
- (5) チームスタッフ4名とは別にトレーナーを帯同しているチームは、チームベンチエリア後方の決められた位置にトレーナー1名を待機させることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (6) 競技場内には、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (7) 練習球は、各チームで用意する。
- (8) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (9) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。